

【ヘアドネーション団体より感謝状が贈呈されました】

宮崎第一高等学校

脱毛症や脱毛症や無毛症・抗がん剤の治療などにより毛髪を失った子供達へ医療用ウィッグを無償提供することを目的に、ライオンズクラブがヘアドネーション事業を行っています。

今回、本校の文理科2年3組佐藤天音さん(宮崎第一中出身)がこの事業に協力し、感謝状が授与されました。

【ライオンズクラブ様より】

- ◆髪の長さ…31cm以上
- ◆ヘアカラーやパーマ、白髪のないナチュラルな髪の毛
- ◆完全に乾いている髪の毛

を求めています。協力できる生徒がいたら、近くのライオンズクラブへ問い合わせてください。

あなたの髪を必要としている子どもたちがいます！

佐藤 天音さんの声

Q：この取り組みに参加したきっかけは？

A：もともと、ロングヘアーが好きでずっと伸ばしていたのですが、切りたくなった時にただ切るだけではもったいないなと思っていました。そんな中、祖父がライオンズクラブに入っており、その祖父からヘアドネーションの活動をしていることを聞きました。少しでも社会の役に立つことができるのであれば寄付をしようと思いました。



【医療用ウィッグはどのように作られるのか】

ヘアドネーションを主催する団体へ届けられた髪の毛は、長さや髪色ごとに分けられ、海外にある専門の工場へ送られます。工場に送られた髪の毛は、キューティクルの除去・染毛・脱水・乾燥・梳毛(そもう)・仕分けといった工程を経て、医療用ウィッグの素材へと生まれ変わります。

その後、申し込みがあった子どもの頭のサイズを測り、オーダーメイドの医療用ウィッグを作製。完成後、子どもたちのもとへと無償で贈られます。

あなたの髪を必要としている子どもたちがいます

伸ばした髪を切って

ありがとう



1人の子にウィッグを贈るためには、約30人分の31cm以上の髪が必要ですよ。

知っている？ 学校で髪を寄付する活動は、ヘアドネーション

ヘアドネーションに賛同するお近くの理美容室でご相談ください。